

館長 柳川 昇氏を悼む

当文庫館長・理事柳川昇氏は、かねて入院加療中の弘前大学医学部付属病院で、昭和五〇年三月二二日に逝去された。享年七〇。

氏は明治三十七年東京に生れ、第一高等学校を経て、昭和二年東京帝国大学経済学部商学科を卒業。株式会社三井銀行本店外国課に勤務ののち、東京帝国大学経済学部奉職、昭和一四年教授に昇任した。

その間、昭和五十七年に『経済学論集』に発表された「日本資本主義発達における製糸業の地位」「桐生織物業における前貸制度」は、氏の初期における代表作であるとともに、日本資本主義論争史にのこる古典的業績となっている。

その後、専攻の商品学・経営学の分野での別掲のような業績をはじめ、国立・私立の諸大学への出講のほか、大学制度・流通制度・生産性向上・地域開発など、国・地方自治体・諸企業の政策立案に、広範囲にわたって精力的に参与された実績は、まことに顕著なものである。

三井文庫には昭和四〇年創立とともに館長・理事に就任、弘前大学々長時代を除いて、前後七年、その運営を統括された。とくに『三井事業史』の編纂刊行、三井高棟伝記編纂など、三井文庫の主たる事業はみな氏によって指導ないし発案されたものである。いまそれら事業の途中で氏を喪ったことは痛哭の至りであり、冥福を祈るとともに、その遺志をついで事業の発展を期するものである。

(館長 中井信彦)

故柳川昇氏著作目録

著書

世界経済の構造と分析 — 戦後における世界経済と国際分業 —

(都留重人氏共編) 昭和二五年四月 有斐閣

公共企業体の研究 (杉村章三郎氏共編) 昭和三一年四月 有斐閣

商業論 昭和三二年五月 青林書院

原価及び原価管理の理論 (黒沢清氏共編) 昭和三四年四月 森山書店

神奈川県卸売流通機構 (宮出秀雄・高柳睦氏共著) 昭和三五年五月 神奈川県

大和証券六〇年史 (今野源八郎共著) 昭和三八年九月

論文

日本資本主義発達における製糸業の地位 昭和五年九月

『経済学論集』八巻四号

桐生織物業における前貸制度 (一) 昭和六年一月

『経済学論集』一卷八号

” (二) 昭和七年二月

『経済学論集』二巻二号

製糸業の恐慌克服策 (一) 昭和一〇年二月

『経済学論集』五巻二号

” (一)

昭和一〇年三月

独逸統制経済における価格政策 (一) 昭和一三年八月

『経済学論集』八巻八号

” (二) 昭和一三年九月

『経済学論集』八巻九号

英国鉄鋼業における統制の發展 昭和一四年五月

『経済学論集』九巻四号

歐洲大戦後における独逸経済再建への道 昭和一四年二月

『経済学論集』九巻一号

我国綿業における統制の發展 昭和一四年

『立教経済学研究』一卷二号

新経済秩序論 — 特にワルター・ラーテナウを中心として —

昭和一五年五月 『国際経済研究』一卷四号

独逸戦時原料経済と戦時企業

— 第一次歐洲大戦における独逸の経験 —

昭和一五年九月 『経済学論集』一〇巻九号

滿洲国経済の構造とその動向 昭和一六年四月

『国際経済研究』二巻四号

商品学の發達 — 特にその所謂古典時代を中心として —

昭和一六年五月 『経済学論集』一一巻五号

戦時における経済過程

— 第一次欧洲大戦における独逸を中心にして —

昭和一六年二月 『経済学論集』 一一卷一—号  
戦時における原料経済 昭和一七年四月 『経済学論集』 一二卷四号

商品学の発達 — 特にその二潮流の發生に關連して —  
昭和一七年四月 『東京帝国大学学術大観・経済学部』

戦争経済と配給 昭和一八年一月 『経済学論集』 一三卷一—号

経営と生産力 昭和二二年九月 『経済学論集』 一六卷一—三—号

配給と消費者 昭和二二年九月 『経済』 一卷七号

経営合理化と経営協議会 昭和二三年四月 『経営評論』 三卷三—号(四)

新経営者と経営権 昭和二四年八月 『経営評論』 四卷八号(八)

アメリカにおける経済の発達と経営 昭和二四年一月 『アメリカにおける経営学と会計学』

アメリカにおける小企業とそれをめぐる諸問題 < 東大経済学部三〇周年記念論文集 >

昭和二五年八月 『経済学論集』 一九卷八号  
広告における経済的なもの 昭和二七年八月 『新聞・ラジオ・広告』

鉄鋼業における合理化と労働生産性

— 一九四九—五〇年実態調査報告 — (高木茂木氏共著)

昭和二九年四月 『経済学論集』 二—卷四—五—号  
紡績業における合理化と労働生産性 一九五〇—五一年実態調査報告 (高木茂木氏共著)

昭和二九年 『経済学論集』 二三卷一—号  
広告の倫理と論理 昭和三〇年七月 『マーケティングと広告』

我国における公共企業体の特質 昭和三一年二月 『世界経済と日本経済』 < 有沢広巳教授還暦記念論文集Ⅱ >

実践か理念か、理念か実践か 昭和三二年 『経済往来』 九卷一—号

近代企業とマーケティング 昭和三三年一月 『マーケティングと広告』

化纖のマーケティング 昭和三三年七月 『マーケティングと広告』

経営学の発達と古典学派 — ドイツを中心として — 昭和三三年一月 『古典派経済学研究』

< 矢内原忠雄教授還暦記念論文集上巻 > 戦後におけるわが国流通市場 昭和三三年 『通商産業研究』 六卷一—号

都市建設と商工政策をめぐる諸問題 昭和三四年六月 『市政』 八卷六号

技術革新と経営管理 昭和三四年六月 『経営理論と経営政策』

〈平井泰太郎博士還暦記念論文集Ⅰ〉

経営管理機構の発達とその物化 昭和三四四年

〈中西寅雄教授還暦記念論文集〉

わが国における公共企業体の特質 昭和三四年一〇月

『日本労働協会雑誌』

技術革新と経営管理 昭和三五年二月 『大阪商工会議所月報』

技術革新とマーケティング 昭和三六年一月

『マーケティングと広告』

近代的経営の論理 昭和三六年六月 『経済と法政の諸問題』

〈加藤一雄在職三五年記念論文集〉

都市と商業 昭和三六年一二月 『市政』百号記念論文集

『経営・会計の理論』

経営における人と物 昭和三七年二月 『経営・会計の理論』

〈佐々木吉郎博士還暦記念論文集〉

経営の近代化と労働 昭和三七年三月 『郵政』一四卷三号

戦後わが国企業におけるマーケティング 昭和三七年九月 『企業経済分析』

〈脇村義太郎還暦記念論文集Ⅱ〉

社会発展と組織人の役割 昭和三八年三月 『日本労働協会雑誌』

『経済学論集』二九卷二号

経営と組織人 昭和三八年七月 『経済学論集』二九卷二号

〈小高泰雄教授還暦記念論文集〉

組織と人間 昭和三九年 『経済発展の理論』

経営物化と経営管理 昭和四〇年六月 『経済発展の理論』

〈渡辺信一教授記念論文集〉

青森県における中小企業 — 全国との比較において — 昭和四〇年一月 『文経論叢』創刊号

経営の発達と労働 昭和四一年二月 『労働経済と労働運動』

〈大河内一男教授還暦記念論文集Ⅱ〉

青森県八戸市における中小企業 昭和四一年一月 『文経論叢』二卷二号 経済学篇Ⅱ

企業成長と経営 昭和四六年一月 『専修商学論集』一

書評・紹介・その他

レオナルド・オーベルアツシャー「ドイツ砂糖価格」 昭和六年四月 『経済学論集』一卷一号

世界経済景気 昭和六年七月 『経済学論集』一卷四号

フリッツ・パーデ「世界穀物市場争覇戦」 昭和六年一〇月 『経済学論集』一卷七号

本位田祥男博士著「綜合蚕糸経済論」上・下巻 昭和一二年八月 『経済学論集』七卷八号

上田貞次郎著「経営経済学総論」 昭和一三年二月 『経済学論集』八卷二号

平岡謙之助著「蚕糸業経済の研究」 昭和一四年四月 『経済学論集』九卷三号

スリーリー「平時及び戦時における原料」

エメニー「原料の戦略—平時及び戦時における米国の一研究」

クラーク「ボイコットと平和」

昭和一四年八月 『経済学論集』九卷七号

大阪商科大学経済研究所編「経済学文献大鑑」第四卷商工篇・上

昭和一四年一〇月 『経済学論集』九卷九号

カール・デイル「個人と協同体」

昭和一五年一〇月

『経済学論集』一〇卷一〇号

桐生織物史上・中・下三卷

昭和一六年二月

『経済学論集』一一卷二号

高宮晋著「企業集中論」

昭和一七年七月

『経済学論集』一二卷七号

山中篤太郎編「中小企業研究二十五年」

昭和三八年一〇月

『経済学論集』二九卷三号

科学研究費のあり方

昭和三一年 『学術月報』九卷六号

長生きと経済

昭和三三年一月 『経友』第一号

オーストラリア・ニュージーランド雑感

昭和三五年五月

『経友』第九・一〇合併号

シドニーからメルボルンへ

昭和三六年五月 『市政』九卷五号

シドニーからオークランドへ

昭和三六年六月 『市政』九卷六号

畏友吉田秀雄君を偲ぶ

昭和三八年三月

『経友』第二六・二七合併号

思い出すままに

昭和四〇年六月

津軽おりおり

『群馬文化』八木昌平先生追悼号  
昭和四四年四月 『文部時報』

学生における人間形成と大学

昭和四七年一月  
『厚生補導』七八